

平成 29 年 4 月 6 日

関係学生 各位

生命機能研究科大学院係

平成 29 年度早期修了に係る在学期間短縮申請について（お知らせ）

本研究科博士課程に 3 年（第 3 年次編入学者にあつては 1 年）以上在籍し、修了要件のひとつである 5 年（第 3 年次編入学者にあつては 3 年）の在学期間を満了せず短縮修了を希望する者は、博士学位申請に先立ち在学期間短縮について審査を受ける必要があります。審査の結果、短縮が認められた場合のみ、博士学位申請の資格が与えられます。

早期修了を希望する者は、指導教員の承認を得たうえで下記の通り手続きして下さい。

記

修了時期	書類提出期限（在学期間短縮）		提出先
9 月期	平成 29 年 5 月 26 日（金）	17 : 00	大学院係
3 月期	平成 29 年 11 月 24 日（金）		
備考	※在学期間短縮認定に関する詳細は次ページ「博士課程早期修了希望者の取扱いについて」参照 ※スケジュールの詳細は 3 ページ目以降「博士学位審査日程」参照		

【申請手順】

下記の必要書類を取り揃えて所定の期限までに提出してください。

様式ファイル（MS Word 形式）は生命機能研究科ウェブサイトからダウンロードできます。

(1) 在学期間短縮申請書

(2) 履歴書（様式 4）

(3) 研究実績（業績）調書

※関係資料（学術論文等の別刷り等）がある場合はコピー（A4 サイズ）を添付。

(4) 論文内容の要旨（様式 3）

(5) 在学期間短縮に関する推薦書

(6) 共著者承諾書

在学期間の短縮についての申し合わせ

(博士課程早期修了希望者の取扱いについて)

大阪大学大学院学則第15条第4項、第5項及び第7項ただし書きに規定された「優れた研究業績を上げた者」に係る在学期間の短縮に関して、下記のとおり申し合わせを行う。

記

- 1 在学期間の短縮を希望する学生は、指導教員の承認を得て、「優れた研究業績を上げた者」についての審査を、履歴書、研究業績調書、申請博士論文題目と概要、申請者主要学術論文に関する共同著者承諾書及び指導教員推薦書を添えて生命機能研究科長へ申請するものとする。
- 2 指導教員は、教務委員会へ研究業績調書などをもとに申請者が「優れた研究業績を上げた者」に該当する旨の推薦書を提出し、これに基づき、教務委員会で申請者の在学期間短縮の可否について審議するものとする。
- 3 教務委員会から、研究科委員会に申請者の在学期間短縮についての報告を行う。
- 4 在学期間の短縮を認めた者に対する博士課程修了認定は、3月及び9月の年2回実施することとする。

背景：在学期間短縮を積極的に推進する。

申請要件：申請者が単独第1著者となる優れた主要学術論文が、査読のある原著論文であり、かつ国際学術誌に本審査申請期限までに採択されていること。また、この主要学術論文を他著者が学位取得論文としないことを、「共著者承諾書」により申請すること。

(平成17年10月12日研究科委員会・教授会承認)

(平成19年4月1日一部改正)

(平成21年9月1日一部改正)

(平成25年4月1日一部改正)

平成29年度生命機能研究科 博士学位審査日程(3月修了)

日程	項目	備考
平成29年	《在学期間短縮審査》	
11月24日(金)	在学期間短縮申請書提出期限	
12月中旬	在学期間短縮申請審査	
平成30年	《 予 備 審 査 》	
1月5日(金)	博士学位授与申請書(予備審査)提出期限	申請書と共に博士論文(紙媒体)を提出
1月中旬	博士号資格審査委員会	
1月26日(金)	予備審査会最終日	
2月9日(金)	博士号資格審査委員会	開催最終日
	《 本 審 査 》	
2月16日(金)	博士学位授与申請期限(本審査)	
3月1日(木)	博士論文公聴会(本審査会)	[生命システム棟2階セミナー室]
3月2日(金)	博士論文公聴会(本審査会)	[生命システム棟2階セミナー室]
3月5日(月)	博士論文最終版(PDFデータ)提出期限	
3月7日(水)	博士学位授与判定	研究科委員会・教授会

(注意) 本研究科博士課程修了要件のひとつである5年(第3年次編入学者にあつては3年)の在学期間を満了せず、早期修了を希望する者は、博士学位申請に先立ち在学年数短縮について審査を受ける必要があります。審査の結果、在学年数の短縮が認められた者のみが所要の在学期間を満了せず、博士学位申請をすることができます。早期修了希望者は、指導教員の承認を得て、所定の期限までに「在学期間短縮申請書」を提出してください。**在学期間短縮申請手続きについては、別途掲示により通知します。**